



初任科第 97 期 初任科だより 消防学校ニュース vol.2

～第 1 回野外訓練～

5月26日(火)、第1回野外訓練を実施しました。当初予定していた日程は雨天のため延期となりましたが、集中力を切らさずに初任科第97期の学生全員が一致団結し、訓練に臨みました。

本訓練では、ホース等の資機材(約20kg程度)を収納したリュックサックを携行し、消防学校から清水折戸潮彩公園までの往復約30kmを踏破しました。資機材を背負いながら長距離の行程を歩き続ける中で、体力だけでなく精神力や忍耐力の重要性を改めて実感するとともに、災害現場で活動する消防職員に求められる基礎的な体力の必要性を学ぶ機会となりました。



多くの学生が完歩を達成しましたが、本訓練の目的は単に完歩することではなく、被災地へ到着した後も継続して活動できる体力を養うことにあります。訓練を通じて各自が自身の課題を認識し、さらなる体力向上の必要性を感じることができました。

また、訓練中には沿道の皆様から温かい激励のお言葉をいただきました。地域の皆様から寄せられる期待と信頼

を実感するとともに、その思いに応えられる消防職員を目指して一層努力していく決意を新たにしました。

今回の訓練で得た経験を今後の各種訓練や第2回野外訓練に活かし、さらなる成長につなげていきます。

～目指せ全員合格～

学生一同、全員合格を目標に日々学習に励み、6月25日(木)危険物取扱者試験に臨みました。

危険物に関する知識は、火災予防や災害対応、安全管理を行う上で極めて重要です。授業を通じて、危険物の性質や消火方法、関係法令など幅広い内容を学び、消防職員として必要な知識の習得に努めています。

覚えるべき内容は多岐にわたりますが、将来の消防活動に直結する重要な知識であることを理解し、一つ一つ着実に理解を深め、全員合格を目指します。

～訓練の成果を！！～

入校から約2か月が経過し、学生たちは新たな環境にも徐々に慣れ、日々の授業や訓練に真摯に取り組んでいます。

現在は各教科及び各実科訓練の効果測定が行われており、学生同士で教え合いながら復習や確認を重ね、理解の定着に努めています。限られた時間を有効に活用し、それぞれが目標達成に向けて努力を続けています。



本番では緊張感のある場面もありましたが、これまで積み重ねてきた学習や訓練の成果を発揮できるよう、落ち着いて取り組むことができました。

今後も現状に満足することなく、仲間と切磋琢磨しながら知識・技術の向上に努め、地域住民の皆様から信頼される消防職員を目指してまいります。

発行日：令和8年6月29日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第97期 文化委員

森本 龍ノ介（浜松） 吉川 真央（袋井）

山田 晴斗（志太）